

第 60 回アジア太平洋プライバシー機関（A P P A）フォーラム コミュニケ（当委員会仮訳（抄））

オーストラリア情報コミッショナーオフィス（O A I C）は、2023 年 11 月 30 日から 12 月 1 日まで、第 60 回アジア太平洋プライバシー機関（A P P A）フォーラムを主催した。

このフォーラムには 18 の A P P A メンバーが参加した。また、他のデータ保護機関その他の国際ネットワークなど、世界中から多数のゲストやオブザーバーも出席した。

2 日間のフォーラムでは、メンバー、オブザーバー及びゲストが、プライバシーに関する様々な共通の論点、規制に関する経験及び執行の課題について共有し、議論した。また、参加者は引き続き関係を構築し、この地域における規制協力を強化した。

議論の焦点となったのは、以下の主要テーマである。

- プライバシーと他の規制領域との接点
- 越境データ流通における信頼の促進
- 子供のプライバシーの保護
- 最近の重大なデータ漏えいに関する最新情報と対応
- バイオメトリクス規制
- デジタル時代のプライバシー保護
- 人工知能

A P P A メンバーは、プライバシー規制に対する積極的なアプローチの必要性を認識し、協働と法域間の協力を強化するための戦略を共有した。

2 日間の会議は 2 つのセッションに分かれて行われた。

1 日目

1 日目、第 60 回 A P P A フォーラムは、オーストラリア情報コミッショナー兼プライバシーコミッショナーであり O A I C 機関長である Angelene Falk 氏によって開会され、同氏は A P P A メンバーのシドニーへの来訪を歓迎し、議題の概要を説明した。続いて、Yvonne Weldon 氏が伝統的な歓迎の辞を述べた。開会式は第 59 回 A P P A フォーラムの議事録が承認され終了した。

1 日目は A P P A の定例的な議題が中心であった。

正式なアジェンダは、中華人民共和国マカオ特別行政区個人データ保護局（O P D P）によるコミュニケーション・ワーキンググループの報告、匿名化を適用したデータの責任ある利用の推進に係る取組を強調する形でのシンガポール個

人データ保護委員会（PDPC）によるテクノロジー・ワーキンググループの報告、ニュージーランド・プライバシーコミッショナー・オフィス（OPC）による比較プライバシー統計ワーキンググループの報告の将来についての議論からなる、APPAワーキンググループ報告書のプレゼンテーションから始まった。

その後、参加者の集合写真が撮影された。

次いで、各メンバーがそれぞれの法域に関する報告を行い、それぞれの法域におけるプライバシーに係る主要な動向について最新情報を提供した。発表者は、フォーラムが関心を持ちそうな過去6ヶ月間の各法域における進展について概説することを求められた。これらは、会合におけるモデレーターを擁した議論の基礎となった。このセッションで議論されたトピックには、以下のようなものがあった。

- バイオメトリクス技術の規制
- デジタル時代のプライバシー保護
- 子供のプライバシーと子供の安全確保
- 人工知能のガバナンス政策と取組
- 欺瞞的デザインパターン

昼食後、午後のセッションは、O A I Cの Sarah Ghali アシスタントコミッショナーをモデレーターとして、プライバシーと他の規制領域との接点に関するパネルディスカッションから始まった。このパネルディスカッションでは、デジタル環境に焦点を当て、プライバシー規制当局による情報共有、規制に関する連携及び協力を促進する必要性が高まっていることについて探った。パネリストは、それぞれの実務経験を振り返るとともに、積極的な協力戦略と対応的な協力戦略のどちらに重点を置くことが、それぞれの法域においてより効果的であるかについて議論した。

続いて、3つのプレゼンテーションが行われた。

- まず、ニュージーランドOPCが、「Poupou Matatapu – プライバシーを守る」について発表した。
- 続いて、日本の個人情報保護委員会が、越境データ流通における信頼の促進について、D F F T（Data Free Flow with Trust：信頼性のある自由なデータ流通）を促進するために不可欠な要素として、信頼性のあるガバメントアクセスへの取組に焦点を当てたプレゼンテーションを行った。
- 次いで、カナダプライバシーコミッショナー・オフィス（OPC）が、子供のプライバシー保護に関する最新情報についてプレゼンテーションを行った。

これらのプレゼンテーションに続き、メンバー限定のクローズドセッションでは、カナダ・ブリティッシュコロンビア州情報プライバシーコミッショナー・オフィス（ブリティッシュ・コロンビア O I P C）からのガバナンスレポートが、APPA ガバナンス委員会委員長兼事務局である McEvoy コミッショナーによって発表された。

1日目の最後には、コミュニケ案について議論され、閉会の辞が述べられた。

夕方、O A I C 主催の歓迎夕食会がオーストラリア国立海洋博物館で開催され、APPA フォーラムに対面で出席したメンバーが参加した。メンバーは、オーストラリア競争・消費者委員会の Gina Cass-Gottlieb 委員長からの、デジタル・プラットフォーム規制当局フォーラムの活動についての演説を聴取した。

2日目

2日目は、Falk コミッショナーからの短い挨拶で幕を開けた。

フォーラム2日目は、グローバル・プライバシー・アップデート・レポート（ネットワーク・レポート）から始まり、ネットワークは以下のトピックについて議論するよう求められた：

- 各ネットワークが今年直面した最も重要な課題と成果は何か。
- 国際的な協力が目的の達成にどのような影響を与えたか。

2日目の最後には、コミュニケ案の公表が承認され、O A I C からの閉会の挨拶が続いた。

最後に、第 61 回 APPA フォーラムの主催についての発表があった。

2日目の残りの時間、APPA 参加者は「AI の暗号を紐解く：洞察、プライバシー、業界の展望」と題された、Centre for International Policy Leadership（C I P L）主催による、人工知能等のトピックについての問題を探求するイベントに参加する機会を得た。C I P L のイベントには、産業界、学界、プライバシー専門家、市民社会、政府及び規制当局の代表者が参加した。

（以上）